



地域医療支援病院

神奈川県立循環器呼吸器病センター

第2号

2017年12月発行

# 地域連携室だより

【トピックス】

## ◆ 地域連携室の取り組み

～“顔の見える連携”を構築するために～

## ◆ 呼吸器内科のご紹介

～気管支サーモプラスティ、経皮的気管支動脈塞栓術(BAE)とは?～

# 地域連携室の取り組み

「顔の見える連携」つくりのために、地域連携室では看護師や社会福祉士が積極的に地域の医療機関の研修にも参加しています。また、当センターに地域の先生や、看護師さんなどをお招きして、研修会や事例検討会なども行っています。

今回は活動の一部をご紹介します。

## 当センターで開催した研修会・連絡会

### ■マインドマップを活用した多職種で行う「見える事例検討会」

平成29年11月14日(火)に「患者の思いを支えるには」というテーマで、当センターの患者さんについての事例検討会を行いました。当センターからは主治医、病棟および外来看護師、地域連携室看護師が出席し、院外からは訪問診療医、訪問看護師、ケアマネージャー、後見人の方などにご参加いただきました。身寄りが無く、「最期は主治医に看取られたい。入院して循環センターで最期を迎えたい。」と望んでいた患者さんが、自宅で周囲に支えられながら、悔いの残らないようやりたいことをやって、最期はホスピスでなくなるまでの経過を振り返りました。生活者として生き活きと過ごす患者さんの様子を見て、「在宅でここまで出来るのか!」と感動。患者さんの希望を引き出すことの大切さを学ぶことができた、貴重な機会となりました。

今後、いろいろな形の事例検討会を開催して参ります。



### ■DOTS会議

「神奈川県内の結核病院と自治体との連携に関する要領」に則り、当センターと自治体とが連携し、不規則治療から生ずる多剤耐性結核の発生予防や、蔓延防止を図るため、当センターの医師、看護師、自治体の保健師などが参加する連絡会議を月一回実施しています。

また、院内外に向けた結核に関する研修会も企画運営しています。今年10月4日に当センターで開催したセミナーには89名（うち院外からの参加者は29名）のご参加をいただきました。



### ■慢性呼吸器疾患看護専門研修

慢性呼吸器疾患患者の医療・看護のエキスパートおよび患者・家族からの講義、在宅への訪問実習や看護研究支援を組み込んだ1年半の研修プログラムを開講しています。

院外からも幅広くご参加頂いております。

今年度の受講人数・・・19名（うち、院外の受講生は15名）

## 院外の連絡会

### ■かなざわ在宅ネットの会

毎月第1水曜日に行われる金沢区内の診療所と支援病院の会に参加しています。病診連携の強化のための問題提議や意見交換を行っています。

地域の医療機関から当センターに求められるニーズを把握し、当センター内にフィードバックできるよう心がけています。

### ■その他地域連携室が参加している連絡会

- 横浜退院支援ナースの会
- 金沢区7病院地域連携担当職員連絡会
- 神奈川県立病院地域医療連携連絡会議



# 診療科のご紹介～呼吸器内科～

## 気管支サーモプラスティ

喘息は現在のところ根治させる治療法はなく、症状に応じて複数の喘息薬を組み合わせ、用量を加減して喘息症状をコントロールする薬物療法が主となっています。しかし、薬物療法でも喘息症状をコントロールできない重症度の高い患者さんには、これまで有効な治療法がありませんでした。

「気管支サーモプラスティ療法」は気管支鏡を用いた、新しい治療法です。

### 治療内容

気管支鏡に細いバスケット型の電極カテーテルを挿入し、気管支壁を約65℃で10秒ずつ、複数箇所に加熱を行います。それにより、喘息の気管支収縮の要因とされる肥厚している気道平滑筋の量を減少させて気道の反応性を抑制し、喘息症状を緩和させます。術中に痛みや熱さを感じることはありません。

処置は3週間の間隔を空けて、合計3回行います。それぞれ短期入院が必要です。

術後は薬物療法による喘息症状の管理を継続します。

### 受診方法

呼吸器内科一般外来にご紹介ください。

診察日：毎週月～金（祝日を除く）

受付時間：午前8:00～11:00

### ご注意

- ◆ 治療の対象は薬物療法を続けても喘息の症状が出てしまう18歳以上の患者さんが対象です。
- ◆ 当治療の対象とならない場合もあります。呼吸器専門医が慎重に適応を判断します。
- ◆ 根治治療ではないので、術後も薬物治療は継続して行います。



## 血痰 咯血 外来

痰に血が混じる（血痰）や、咳とともに血液が吐き出される（咯血）は、肺結核や非結核性抗酸菌症などといった呼吸器感染症や、気管支拡張症あるいは肺がんなど様々な病気が原因で起こります。当センターではこの度、咯血治療を専門とした外来を開設しました。血痰、咯血の症状でお悩みの方は当外来にご相談ください。

### 治療方針

少量の出血の場合、安静にして抗菌薬と止血剤を使用する薬物療法を選択します。しかしながら、血痰、咯血の原因が特定できない特発性咯血症や、止血剤でも出血が止まらないような大量咯血をきたしている場合、あるいは少量でも咯血を繰り返す場合は、出血の原因となっている血管をカテーテルを用いて塞ぐ治療（経皮的気管支動脈塞栓術（BAE））が有効な治療法です。当センターでは3日～4日の入院で手術を行います。

### 受診方法

診療日：第1・2・5木曜日（祝日を除く）

受付時間：午前8:00～11:00

担当医：呼吸器内科 丹羽 崇（にわ たかし）

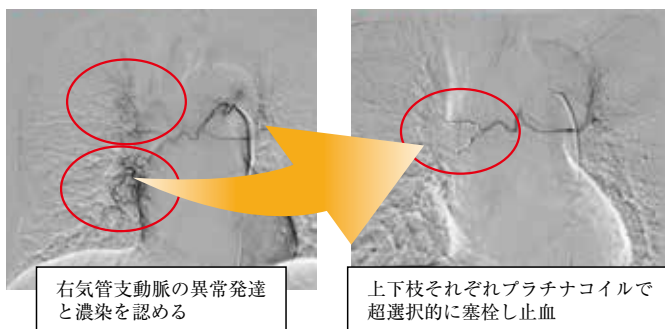
※予約制ではありませんので、「血痰・咯血外来」宛の紹介状をご用意のうえ、直接上記の時間に来院するよう患者さんにご案内ください。

### 経皮的気管支動脈塞栓術（BAE）

カテーテルを用いて、血痰や咯血の原因となっている血管にプラチナ製の特殊なコイルで詰め物をして出血を止める血管治療です。

まず局所麻酔で股の付け根にある大腿動脈または前腕の橈骨動脈より血管内にカテーテルを挿入し、出血の原因である血管に血液を送り出している気管支動脈に造影剤を注入し、血管造影を行います。その結果、BAEの適用と判断された場合、金属製のコイルで血管を塞ぎます。

コイルは非磁性体のため、施術後にMRI検査を行っても問題ありません。



右気管支動脈の異常発達と濃染を認める

上下枝それぞれプラチナコイルで超選択的に塞栓し止血

# 患者さんのご紹介について

## 初診紹介予約

☎ 045-701-8822(直通) 地域連携室

当センター宛の紹介状をお持ちの患者さんは、当センターの初診予約をお取りすることができます。初診予約を担当する医師は下記のとおりです。初診予約担当以外の医師をご指定の際は、外来担当表をご参照の上、直接ご来院ください。患者さんからのお電話でも承ります。

## ■初診予約担当医表

平成29年12月現在

診療科	外来区分	月	火	水	木	金
呼吸器内科	一般外来	新谷	仲川	佐渡山	山川	池田
	間質性肺炎 外来	山川	池田			
循環器内科	一般外来	福井	上村	仲地	福井	加藤
	心房細動センター	福井			福井	
糖尿病・ 内分泌内科	一般外来	佐々木	井上	佐川	佐々木	佐々木
呼吸器外科	一般外来				田尻	
	肺がん外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
心臓血管外科	一般外来			担当医		

## 結核患者さんのご紹介について

### ① 疑い事例の場合

呼吸器内科一般外来へご紹介ください。平日午前8時から11時までに直接ご来院するよう患者さんへお伝えください。

### ② 喀痰塗抹陽性またはPCR陽性の場合

担当の医師が直接対応しますので、かかりつけの先生から必ず事前に当センターへご連絡ください。

(☎045-701-9581(代表))

## 症例検討会のお知らせ

「金沢区・磯子区・港南区 症例検討会 (循環器・呼吸器・放射線領域合同)」

日時：平成30年1月10日(水) 19:00~20:30

※講義の後、懇親会を予定しております。

場所：神奈川県立循環器呼吸器病センター 2階 講義室

※詳細は決まり次第、当センターホームページに案内を掲載いたします。

## 基本理念

私たちは、患者さんと家族の方に信頼され、安心していただける、心あたたかい医療を提供します。

## 基本方針

1. 循環器・呼吸器病の専門病院として、高度先進医療と救急医療を提供します。
2. インフォームド・コンセント(説明と同意)による患者さんとの相互理解と信頼にたった医療を推進します。
3. 各医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 県民の皆さんとのニーズに対応できる病院運営を行い、経営の健全化をめざします。
5. 専門医療機関として、医療スタッフの育成に努めます。

発行：地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

住所：〒236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東6-16-1

TEL：045-701-9581 FAX：045-784-5965

HP：<http://junko.kanagawa-pho.jp/>

編集：神奈川県立循環器呼吸器病センター地域連携室(内線 2407)

